



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月1日

上場会社名 株式会社 東邦銀行 上場取引所 東  
 コード番号 8346 URL <https://www.tohobank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 佐藤 稔  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長 (氏名) 金成 倫 (TEL) 024-523-3131  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月2日 配当支払開始予定日 —  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	14,854	△3.3	2,869	16.1	1,980	14.2
2023年3月期第1四半期	15,356	△0.0	2,470	0.1	1,734	△1.9

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 6,283百万円( —%) 2023年3月期第1四半期 △1,181百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	7.85	—
2023年3月期第1四半期	6.88	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,681,285	196,414	2.9
2023年3月期	6,613,120	191,012	2.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 196,414百万円 2023年3月期 191,012百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。  
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	3.50	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,200	△4.8	4,000	0.3	2,700	7.4	10.71
通期	59,400	1.2	8,000	19.4	5,300	18.0	21.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	252,500,000株	2023年3月期	252,500,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	443,689株	2023年3月期	443,640株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	252,056,345株	2023年3月期1Q	252,056,532株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報

- (1) 連結経営成績に関する説明 ..... 2
- (2) 連結財政状態に関する説明..... 2
- (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ..... 2

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

- (1) 四半期連結貸借対照表 ..... 3
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
  - 四半期連結損益計算書 ..... 4
  - 四半期連結包括利益計算書 ..... 5
- (3) 継続企業の前提に関する注記 ..... 6
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ..... 6
- (5) 会計方針の変更..... 6
- (6) 追加情報 ..... 6
- (7) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(重要な後発事象) ..... 6

(参考資料)

- 2023年度第1四半期決算説明資料 ..... 7～13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

経常収益は、有価証券利息配当金および役務取引等収益の減少を主因として、前年同期比5億2百万円減少し148億54百万円となりました。

経常費用は、投資信託解約損の減少を主因として、前年同期比9億1百万円減少し119億84百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比3億98百万円増加し28億69百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比2億45百万円増加し19億80百万円となりました。

なお、業務の根幹をなすコアの利益である「コア業務純益」は、有価証券利息配当金減を主因とした資金利益の減少に加え、経費の増加などにより、前年同期比10億23百万円減少し26億75百万円となりました。

セグメントごとの財政状態および経営成績の状況に関する認識および分析・検討内容は次のとおりであります。

#### ○銀行業

経常収益は、有価証券利息配当金および役務取引等収益の減少を主因として、前年同期比4億8百万円減少し133億72百万円となりました。また、セグメント利益は、投資信託解約損の減少による有価証券関係損益の改善により、前年同期比7億42百万円増加し34億44百万円となりました。

#### ○証券業

経常収益は、売上高の減少により、前年同期比55百万円減少し1億65百万円となりました。また、セグメント利益は、経常収益の減少により、前年同期比52百万円減少し△72百万円となりました。

#### ○リース業

経常収益は、コロナウイルス感染症の5類移行により契約高が回復したことを主因とし、前年同期比96百万円増加し20億52百万円となりました。また、セグメント利益は、経常収益の増加により、前年同期比24百万円増加し3億48百万円となりました。

#### ○信用保証業

経常収益は、貸倒引当金戻入益の減少により、前年同期比36百万円減少し6億10百万円となりました。また、セグメント利益は、経常収益の減少および与信関係費用の増加により、前年同期比1億4百万円減少し5億5百万円となりました。

#### ○その他

経常収益は、グループ会社の業務収益増加などにより、前年同期比10百万円増加し10億6百万円となりました。また、セグメント利益は、営業経費の増加により、前年同期比16百万円減少し4億86百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する説明

#### 主要勘定の動向

- A. 譲渡性預金を含む総預金は、個人預金および法人預金の増加を主因として、前年度末比850億円増加し6兆2,747億円となりました。
- B. 貸出金は、事業性貸出および公共貸出の減少を主因として、前年度末比48億円減少し3兆9,031億円となりました。
- C. 有価証券は、安定的な利息配当確保のため、地方債等の円建債券を中心に残高を積み上げ、前年度末比196億円増加し5,830億円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	1,986,222	2,038,468
買入金銭債権	12,741	12,420
商品有価証券	17	49
金銭の信託	8,750	8,950
有価証券	563,428	583,064
貸出金	3,908,036	3,903,142
外国為替	2,445	1,842
リース債権及びリース投資資産	12,309	12,361
その他資産	72,546	75,075
有形固定資産	36,111	35,992
無形固定資産	12,302	12,819
退職給付に係る資産	2,692	2,985
繰延税金資産	14,249	12,288
支払承諾見返	7,748	8,595
貸倒引当金	△26,482	△26,770
<b>資産の部合計</b>	<b>6,613,120</b>	<b>6,681,285</b>
<b>負債の部</b>		
預金	5,769,321	5,691,119
譲渡性預金	420,317	583,592
借入金	176,571	152,905
外国為替	154	124
信託勘定借	5,895	5,912
その他負債	38,341	38,732
退職給付に係る負債	141	143
睡眠預金払戻損失引当金	353	353
偶発損失引当金	434	473
ポイント引当金	213	219
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	572	658
再評価に係る繰延税金負債	2,041	2,037
支払承諾	7,748	8,595
<b>負債の部合計</b>	<b>6,422,107</b>	<b>6,484,871</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金	23,519	23,519
資本剰余金	13,653	13,653
利益剰余金	155,160	156,266
自己株式	△145	△145
<b>株主資本合計</b>	<b>192,187</b>	<b>193,293</b>
その他有価証券評価差額金	△1,283	2,997
土地再評価差額金	△775	△784
退職給付に係る調整累計額	884	907
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>△1,174</b>	<b>3,120</b>
<b>純資産の部合計</b>	<b>191,012</b>	<b>196,414</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>6,613,120</b>	<b>6,681,285</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
経常収益	15,356	14,854
資金運用収益	8,916	8,402
(うち貸出金利息)	6,477	6,550
(うち有価証券利息配当金)	1,645	1,174
信託報酬	0	0
役務取引等収益	3,481	3,400
その他業務収益	2,253	2,191
その他経常収益	705	860
経常費用	12,886	11,984
資金調達費用	85	47
(うち預金利息)	58	56
役務取引等費用	1,293	1,338
その他業務費用	2,595	1,742
営業経費	8,009	8,225
その他経常費用	902	630
経常利益	2,470	2,869
特別利益	17	62
固定資産処分益	17	26
その他の特別利益	—	36
特別損失	8	72
固定資産処分損	5	58
減損損失	3	14
金融商品取引責任準備金繰入額	0	0
税金等調整前四半期純利益	2,479	2,858
法人税、住民税及び事業税	498	530
法人税等調整額	245	348
法人税等合計	744	878
四半期純利益	1,734	1,980
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,734	1,980

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,734	1,980
その他の包括利益	△2,915	4,303
その他有価証券評価差額金	△2,996	4,280
退職給付に係る調整額	80	23
四半期包括利益	△1,181	6,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,181	6,283

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 会計方針の変更

該当事項はありません。

(6) 追加情報

該当事項はありません。

(7) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

該当事項はありません。



(参考資料)

# 2023年度第1四半期 決算説明資料

1. 損益の状況 【単体】
2. 業績の状況 【単体】
3. 自己資本比率 【連結・単体】
4. 金融再生法開示債権 【単体】
5. 損益の内訳 【単体】

## 1. 損益の状況【単体】

(1) 経常収益	133億72百万円	<前年同期比	△4億 8百万円(△ 3.0%)>
有価証券利息配当金および役務取引等収益の減少を主因として、経常収益は減収となりました。			
(2) コア業務純益	31億79百万円	<前年同期比	△8億20百万円(△ 20.5%)>
有価証券利息配当金減を主因とした資金利益の減少に加え、経費の増加などにより、コア業務純益は減益となりました。			
(3) 経常利益	34億44百万円	<前年同期比	+7億42百万円(+ 27.5%)>
投資信託解約損の減少による有価証券関係損益の改善により、経常利益は増益となりました。			
(4) 四半期純利益	26億84百万円	<前年同期比	+ 5億39百万円(+ 25.1%)>

				(単位:百万円)	
		2022年度 第1四半期 (3ヵ月)	2023年度 第1四半期 (3ヵ月)	2023年度 第2四半期 業績予想(注2)	
				前年同期比	
(1)	経常収益	13,781	13,372	△408	25,300
	コア業務粗利益 ①	11,488	10,928	△559	(達成率 52.9%)
	資金利益	9,614	9,236	△377	
	役務取引等利益	1,690	1,521	△169	
	その他業務利益(除く国債等債券関係損益)	183	170	△12	
	経費 ②	7,487	7,748	261	
	うち人件費	3,940	4,117	176	
	うち物件費	3,050	3,150	100	
(2)	コア業務純益 (①-②)	4,000	3,179	△820	
	コア業務純益(除く投資信託解約損益)	4,277	3,179	△1,097	
	有価証券関係損益	△1,155	24	1,179	
	国債等債券関係損益	△915	—	915	
	株式等関係損益	△244	19	263	
	金銭の信託運用損益	4	5	0	
	与信関係費用 (A+B-C)	612	270	△342	
	一般貸倒引当金繰入額 (A)	140	△162	△303	
	不良債権処理額 (B)	472	444	△27	
	貸倒引当金戻入益等 (C)	—	11	11	
	その他臨時損益	468	510	42	
(3)	経常利益	2,701	3,444	742	4,200
	特別損益	8	△10	△19	(達成率 82.0%)
	税引前四半期純利益	2,710	3,433	723	
	税金費用	564	748	184	
(4)	四半期純利益	2,145	2,684	539	3,100
	【参考】				(達成率 86.6%)
	顧客向けサービス業務利益(注1)	506	236	△270	

(注1) 預貸金利益(貸出金平残×預貸金利回り差)+役務取引等利益-営業経費(経費+退職給付関連費用)

(注2) 業績予想につきましては、2023年5月12日公表の数値から変更ありません。

## 2. 業績の状況【単体】

### (1)総預金(譲渡性預金含む)、預かり資産

A. 総預金 6兆2,890億円 <前年同期比 + 28億円(+0.1%)>

公金預金等は減少しましたが、個人預金・法人預金が引続き順調に推移し、前年同期比28億円増加(+0.1%)しました。

B. 預かり資産 4,772億円 <前年同期比 +220億円(+4.9%)>

投資信託、公共債の残高増加により前年同期比220億円増加(+4.9%)しました。

(単位:億円)

	2022年6月末	2023年3月末	2023年6月末		
			2022年6月末比	2023年3月末比	
総預金	62,861	62,042	62,890	28	847
個人預金	36,906	36,728	37,208	301	480
法人預金	14,864	14,463	15,340	475	876
公金預金等	11,090	10,850	10,341	△748	△509

(注)総預金は、譲渡性預金を含んでおります。

(単位:億円)

	2022年6月末	2023年3月末	2023年6月末		
			2022年6月末比	2023年3月末比	
預かり資産	4,552	4,563	4,772	220	209
生命保険	3,164	3,036	3,123	△40	87
投資信託	959	1,003	1,115	155	111
公共債	428	523	534	105	10

**C. 総預かり資産**      **6兆7,663億円** <前年同期比 +249億円(+0.4%)>

総預金と預かり資産を合計した総預かり資産は、個人預金・法人預金・預かり資産の増加により、**前年同期比249億円増加(+0.4%)**しました。

(単位:億円)

	2022年6月末	2023年3月末	2023年6月末		
			2022年6月末比	2023年3月末比	
総預かり資産 (総預金+預かり資産)	67,413	66,605	67,663	249	1,057
総預金	62,861	62,042	62,890	28	847
預かり資産	4,552	4,563	4,772	220	209

(注)総預金は、譲渡性預金を含んでおります。

**(2) 貸出金(含む私募債)**

**貸出金(含む私募債)**      **3兆9,661億円** <前年同期比 +1,531億円(+4.0%)>

お客さまのニーズに幅広く積極的にお応えした結果、**前年同期比1,531億円増加(+4.0%)**しました。

(単位:億円)

	2022年6月末	2023年3月末	2023年6月末		
			2022年6月末比	2023年3月末比	
貸出金(含む私募債)	38,129	39,750	39,661	1,531	△88
貸出金	37,485	39,171	39,125	1,639	△46
事業性貸出	14,847	15,963	15,940	1,093	△23
個人ローン	8,358	8,419	8,421	63	2
公共貸出	14,280	14,788	14,763	482	△25
私募債	644	578	535	△108	△42

### (3)有価証券

有価証券 5,842億円 <前年同期比 +415億円(+7.7%)>

安定的な利息配当確保のため、地方債等の円建債券を中心に残高を積み上げ、期末残高は前年同期比415億円増加(+7.7%)しました。

(単位:億円)

	2022年6月末	2023年3月末	2023年6月末		
			2022年6月末比	2023年3月末比	
有価証券	5,426	5,648	5,842	415	194
国債	1,121	1,142	1,147	26	5
地方債	1,231	1,430	1,517	286	87
社債	1,233	1,379	1,402	168	22
株式	390	377	405	15	28
その他の証券	1,450	1,318	1,368	△81	50

(単位:億円)

	2022年6月末	2023年3月末	2023年6月末		
			2022年6月末比	2023年3月末比	
その他有価証券評価損益	0	△31	25	24	56
株式	82	94	130	48	36
債券	△49	△75	△65	△16	10
その他	△31	△49	△39	△7	9

### 3. 自己資本比率【連結・単体】

連結自己資本比率 9.46% <2023年3月末比 +0.10%>

連結自己資本比率は9.46%と引き続き十分な水準を維持しております。

#### 【国内基準】

(単位:億円)

		2023年3月末	2023年6月末	2023年3月末比
連結	自己資本(A)	1,892	1,905	12
	リスクアセット等(B)	20,210	20,124	△86
	自己資本比率(A÷B)	9.36%	9.46%	0.10%
単体	自己資本(C)	1,787	1,807	19
	リスクアセット等(D)	20,152	20,056	△96
	自己資本比率(C÷D)	8.86%	9.01%	0.15%

#### 4. 金融再生法開示債権(正常債権除く)【単体】

金融再生法開示債権 533億円 <前年同期比 +37億円>  
 (総与信に対する比率 1.34% <前年同期比 +0.04%>)  
 総与信に対する比率は1.34%と引続き低い水準になっております。

【参考】部分直接償却を実施した場合 420億円 <前年同期比 +52億円>  
 (総与信に対する比率 1.06% <前年同期比 +0.09%>)  
 当行は、部分直接償却を実施していませんが、仮に部分直接償却を実施した場合は420億円、1.06%となります。

(単位:億円)

	2022年6月末	2023年3月末	2023年6月末		
			2022年6月末比	2023年3月末比	
金融再生法開示債権	496	494	533	37	38
破産更生債権等	180	184	184	4	△0
危険債権	250	252	290	40	38
要管理債権	65	57	58	△7	1
総与信	38,241	39,844	39,768	1,526	△76
総与信比	1.29%	1.24%	1.34%	0.04%	0.10%

#### 【参考】部分直接償却を実施した場合

(単位:億円)

	2022年6月末	2023年3月末	2023年6月末		
			2022年6月末比	2023年3月末比	
金融再生法開示債権	368	381	420	52	39
総与信	38,113	39,731	39,655	1,541	△76
総与信比	0.96%	0.95%	1.06%	0.09%	0.10%

## 5. 損益の内訳【単体】

(単位:百万円)

	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	増減	
			増減	増減率
<b>経常収益</b>	<b>13,781</b>	<b>13,372</b>	<b>△ 408</b>	<b>△3.0%</b>
業務粗利益 ①	10,572	10,928	355	3.4%
(コア業務粗利益) A	(11,488)	(10,928)	(△ 559)	(△4.9%)
資金利益	9,614	9,236	△ 377	△3.9%
役務取引等利益	1,690	1,521	△ 169	△10.0%
その他業務利益	△ 732	170	902	—
うち国債等債券関係損益(5勘定戻) ②	△ 915	—	915	—
経費(除く臨時処理分)	7,487	7,748	261	3.5%
人件費	3,940	4,117	176	4.5%
物件費	3,050	3,150	100	3.3%
税金	496	480	△ 15	△3.2%
<b>実質業務純益</b>	<b>3,085</b>	<b>3,179</b>	<b>94</b>	<b>3.1%</b>
(コア業務純益) B	(4,000)	(3,179)	(△ 820)	(△20.5%)
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	(4,277)	(3,179)	(△ 1,097)	(△25.7%)
一般貸倒引当金繰入額 ③	140	△ 162	△ 303	—
業務純益 ④	2,944	3,342	397	13.5%
臨時損益	△ 243	101	344	—
不良債権処理額 ⑤	472	444	△ 27	△5.9%
個別貸倒引当金繰入額	439	386	△ 52	△11.9%
偶発損失引当金繰入額	15	39	23	158.1%
債権売却損等	18	18	0	2.2%
償却債権取立益 ⑥	—	11	11	—
株式等関係損益(3勘定戻) ⑦	△ 244	19	263	—
金銭の信託運用損益 ⑧	4	5	0	4.4%
その他臨時損益	468	510	42	9.0%
<b>経常利益</b>	<b>2,701</b>	<b>3,444</b>	<b>742</b>	<b>27.5%</b>
特別損益	8	△ 10	△ 19	—
うち固定資産処分損益	12	△ 32	△ 44	—
固定資産処分益	17	26	8	50.8%
固定資産処分損	5	58	53	—
うち固定資産減損損失	3	14	10	302.9%
税引前四半期純利益	2,710	3,433	723	26.7%
法人税等合計	564	748	184	32.7%
法人税、住民税及び事業税	369	349	△ 20	△5.5%
法人税等調整額	194	399	204	105.3%
<b>四半期純利益</b>	<b>2,145</b>	<b>2,684</b>	<b>539</b>	<b>25.1%</b>
与信関係費用 (③+⑤-⑥)	612	270	△ 342	△55.8%
有価証券関係損益 (②+⑦+⑧)	△ 1,155	24	1,179	—

(注1) コア業務粗利益 : A = 業務粗利益① - 国債等債券関係損益②

(注2) コア業務純益 : B = 業務純益④ + 一般貸倒引当金繰入額③ - 国債等債券関係損益②